

福島県立図書館特殊文庫

# 朝河貫一資料

展示セット貸出のお知らせ

当館では福島県の生んだ国際的歴史学者・朝河貫一（1873-1948）の遺品類を特殊文庫「朝河貫一資料」として保存しており、2018年には企画展「海を渡ったサムライ～朝河貫一没後70年記念展～」で資料の一部を展示しました。今回、実際に展示された全資料のレプリカを作製し、展示セットとして貸出を開始いたします。郷土の偉人を知る一助としてぜひご利用ください。



## 【貸出までの流れ】

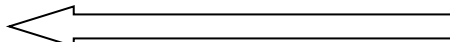
福島県立図書館

② 受付・準備

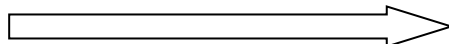


展示セットの  
貸出期間は1～3カ月

① 申し込み（申込書）

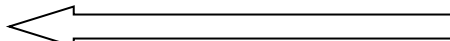


③ 展示セットの貸出



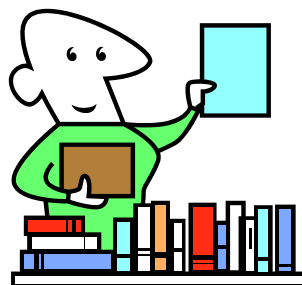
来館・協力車・宅配

⑤ 展示セットの返却



来館・協力車・宅配

図書館等借受施設



④ 展示

- ◆ セット内の資料は、リストから選択可能になっています。  
リストは<<https://www.library.fks.ed.jp/ippan/shiryoannai/asakawa.html>>からもダウンロードできます。
- ◆ 資料は資料レプリカ・資料説明キャプション・関係人物写真パネル（一部除く）で構成されています。
- ◆ 展示の方法は、各施設へおまかせします。ex.本を追加する。紹介文やパネルを加える等、アレンジOKです。
- ◆ 送料は県内の場合片道、県外の場合往復の送料をご負担いただきます。

【お問い合わせ】 福島県立図書館 資料情報サービス部 地域資料チーム  
〒960-8003 福島市森合字西養山1 TEL 024-535-3218 FAX 024-536-4787  
E-mail [chiiki-library-gr@fcs.ed.jp](mailto:chiiki-library-gr@fcs.ed.jp)

福島県立図書館展示資料

「海を渡ったサムライ 朝河貫一」

※書簡レプリカ及び書簡説明キャプション・顔写真パネル（氏名に\*が付いている人物を除く）のセットです。

貸出を希望する資料にチェック☑を入れてください。

No.	資料情報	備考
見出し	<b>I. 1873(明治6)年～1902(明治35)年</b>	
<input type="checkbox"/>	<b>福島、東京、そしてアメリカへ</b>	
<input type="checkbox"/>	1 1894(明治27)年10月28日 渡辺熊之助*宛 発信書簡	
<input type="checkbox"/>	2 1894(明治27)年11月13日 渡辺熊之助*宛 発信書簡	
<input type="checkbox"/>	3 1895(明治28)年10月19日 アメリカ渡航前の送別会におけるあいさつ	イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	4 1899(明治32)年5月30日 朝河正澄・エヒ宛 発信書簡(控)	イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	5 1899(明治32)年7月29日 朝河正澄・エヒ宛 発信書簡(控)	イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	6 1900(明治33)年1月1日 「年頭の自戒」	イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	7 1900(明治34)年7月13日 Margaret Dimond*宛 発信書簡	
見出し	<b>II. 1903(明治35)年～1915(大正4)年</b>	
<input type="checkbox"/>	<b>日露戦争～結婚・死別</b>	
<input type="checkbox"/>	8 1904(明治37)年2月14日 Margaret Dimond*宛 発信書簡	
<input type="checkbox"/>	9 1904(明治37)年12月4日 Margaret Dimond*宛 発信書簡	
<input type="checkbox"/>	10 1905(明治38)年12月27日 朝河正澄宛 発信書簡(控)	
<input type="checkbox"/>	11 1906(明治39)年5月28日 伊藤博文宛 発信書簡(控)	
<input type="checkbox"/>	12 1908(明治41)年11月7日 横井時雄*より 受信書簡	
<input type="checkbox"/>	13 1913(大正2)年3月12日 高田早苗より 受信書簡	
<input type="checkbox"/>	14 1913(大正2)年5月18日 大隈重信宛 発信書簡(控)	
<input type="checkbox"/>	15 1915(大正4)年4月4日 大隈重信宛 発信書簡(控)	イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
見出し	<b>III. 1916(大正5)年～1930(昭和5)年</b>	
<input type="checkbox"/>	<b>帰国と入来文書研究～関東大震災</b>	
<input type="checkbox"/>	16 1920(大正9)年7月16日 渋沢栄一より 受信書簡	
<input type="checkbox"/>	17 1921(大正10)年9月9日 野口英世より 受信書簡	
<input type="checkbox"/>	18 1924(大正13)年6月2日 徳富蘇峰宛 発信書簡(控)	
<input type="checkbox"/>	19 1929(昭和4)年5月20日 大久保利武より 受信書簡	
<input type="checkbox"/>	20 1923(大正12)年9月20日 埴原正直より 受信書簡	関東大震災関連書簡
<input type="checkbox"/>	21 1923(大正12)年10月6日 坪内逍遙より 受信書簡	
<input type="checkbox"/>	22 1923(大正12)年10月17日 吉野作造より 受信書簡	
<input type="checkbox"/>	23 1923(大正12)年10月22日 和田萬吉*より 受信書簡	
<input type="checkbox"/>		

見出し IV. 1931(昭和6)年～1948(昭和23)年

日本への警鐘～太平洋戦争 そしてアメリカの地に眠る

<input type="checkbox"/>	24	1933(昭和8)年9月16日	徳富蘇峰宛	発信書簡(控)
<input type="checkbox"/>	25	1938(昭和13)年3月6日	中桐確太郎*宛	発信書簡(控)
<input type="checkbox"/>	26	1938(昭和13)年11月20日	斎藤金太郎*宛	発信書簡
<input type="checkbox"/>	27	1939(昭和14)年10月22日	村田勤*宛	発信書簡(控)
<input type="checkbox"/>	28	1941(昭和16)年12月24日	角田柳作*宛	発信書簡(控)
<input type="checkbox"/>	29	1940(昭和15)年1月28日	鳩山一郎宛	発信書簡(控)
<input type="checkbox"/>	30	1945(昭和20)年8月19日	Gretchen Warren*宛	発信書簡(控)
<input type="checkbox"/>	31	1947(昭和22)年11月30日	村田勤*宛	発信書簡(控)

見出し V. 朝河を彩った女性たち

<input type="checkbox"/>	32	1899(明治32)年12月9日	Margaret Dimond*宛	発信書簡
<input type="checkbox"/>	33	1900(明治33)年10月13日	Margaret Dimond*宛	発信書簡
<input type="checkbox"/>	34	1908(明治41)年4月15日	ミアム・朝河宛	発信書簡
<input type="checkbox"/>	35	1911(明治44)年9月15日	ミアム・朝河宛	発信書簡
<input type="checkbox"/>	36	1913(大正2)年2月4日	ミアム・朝河死去時の日記	イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	37	1915(大正4)年7月15日	Diana Watts*へ告白した際の日記	イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	38	1918(大正7)年4月10日	Bella Irwin*宛	発信書簡(控) イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	39	1919(大正8)年11月28日	Bella Irwin*宛	発信書簡(控) イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	40	1921(大正10)年10月1日	Marion V*宛	発信書簡(控) イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	41	1945(昭和20)年11月4日	Gretchen Warren*宛	発信書簡(控)

見出し VI. 「昭和天皇宛大統領親書草案」

<input type="checkbox"/>	42	1941(昭和16)年10月12日	金子堅太郎宛	発信書簡(控) イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	43	1941(昭和16)年11月18日	Langdon Warner*より	受信書簡 イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	44	1941(昭和16)年11月19日	Langdon Warner*宛	発信書簡(控) イエール大学蔵「Kan'ichi Asakawa Papers」より複製
<input type="checkbox"/>	45	1941(昭和16)年11月23日	Langdon Warner*宛 「大統領親書草案」(控)	

VII. その他展示用写真

<input type="checkbox"/>	46	朝河貫一写真(Iの時期)	大学時代
<input type="checkbox"/>	47	朝河貫一写真(IIの時期)	結婚当時の写真
<input type="checkbox"/>	48	朝河貫一写真(IIIの時期)	1919(大正8)年のパスポート写真
<input type="checkbox"/>	49	朝河貫一写真(IVの時期)	肖像写真
<input type="checkbox"/>	50	墓碑写真	グローブ・ストリート墓地(アメリカ)

# 朝河貫一とは 何者なのか

## 【旧二本松藩士の子に生まれる】

朝河貫一（あさかわかんいち）は1873（明治6）年、旧二本松藩士・朝河正澄の長男として生まれました。幼い頃から学業優秀だった貫一は、立子山小学校・川俣高等小学校・福島県尋常中学校（現在の安積高等学校）・東京専門学校（現在の早稲田大学）を優秀な成績で卒業。周囲の助けを得て、23歳のときアメリカへ留学します。



## 【第2の故郷・アメリカでの活躍】

ダートマス大学・イエール大学大学院を卒業した貫一は、大学講師の職を得ます。アメリカの地においても日本に対する貫一の思いは変わらず、「大化の改新」や鹿児島<sup>いりき</sup>の「入来文書」等に関する研究書を出版し、歴史学者として評価されたほか、日露戦争が開戦した際にはアメリカ国内で日本の国際的立場を弁護し、各地で講演会を開催するなど祖国のために奔走しました。



## 【平和への願い】

アジアへ侵略の手を伸ばし、戦争への道を進んでいた日本を心配した貫一は、有力者へ手紙を送り、日本の暴走を止めようとしています。しかし最後の手段「アメリカ大統領から昭和天皇への親書送信」も一歩及ばず、太平洋戦争が開戦。2つの祖国に対する平和への願いは届きませんでした。貫一は1948（昭和23）年アメリカで死去しますが、その学問上の功績や、平和を願い日本へ警鐘を鳴らし続けた行動・姿勢は、現在でも高く評価されています。

